

令和2年度 大宮学園

保幼小中一貫教育だより



向日葵の伸びたる先に空は青

令和2年7月30日 大宮学園事務局

「6年生リモート（遠隔）授業で交流」～（第一小・南小）

7月17日（金）、大宮学園の2小学校では、国語の授業をリモート（遠隔）でつなぎ、第一小6年生3学級と南小6年生1学級、計4学級、92名の児童が交流しました。

このリモート（遠隔）での交流スタイルは、新型コロナウイルス禍においてにわかに脚光を浴びてきました。今回は、6年生国語科の「わたしたちに出来ること～提案書を書こう」という教材で、提案書のテーマは第一小・南小共通で「自分のチームのグループがみんなにとって最高の居場所にするためにどうすればいいか」です。

今回、両校6年生担任の連携により実現したリモート（遠隔）授業でしたが、施設分離型で保幼小中一貫教育を追求する大宮学園は、今後も様々な状況に対応でき、子どもたちにとって有用な、また保護者・地域の皆様の信託に応えられる「保幼小中一貫教育」を目指していきます。

【リモート授業の様子】



第一小6年生教室



電子黒板モニターで交流



南小6年生教室

「夢・未来式」（大宮中3年生）

7月9日（木）、大宮中学校では3年生による「夢・未来式」が行われました。この「夢・未来式」、小学校4年生と中学校3年生を対象としており、それぞれ節目となる時期に大宮中学校区の子どもたち一人ひとりに自分自身の生き方について考えさせ、よりよく生きるためにどのように行動すべきかを考えさせ、自立させていくという大きなねらいを持った取組です。

大宮中学校では、総合的な学習の時間を使って「自分の生き方」に目を向けさせ、進路を実現させるために具体的にどのように行動すべきかを考えさせてきました。そして、この学びを3年生徒一人ひとりが決意作文にまとめ、「夢・未来式」で発表しました。



第1部（全体会）の様子

【第1部（全体会）～各学級代表者の作文発表】

<1組>「自分を変える」 吉岡 美紅 さん <2組>「世界に目を向けて」 小幡 兼幹 君
<3組>「私の夢を実現するために」 田中 香織 さん <わかびな学級>「私の夢」大木 望陽 さん

第1回大宮学園学校運営協議会の開催

7月1日（水）、大宮学園第1回学校運営協議会を開催しました。

昨年度までの大宮学園教育支援協議会を「大宮学園学校運営協議会」と名称変更し、国のコミュニティ・スクールに対応するとともに、園保・学校と家庭・地域がより連携を強め、教育力のある地域社会の実現（地域とともにある学校）を目指していきます。



向日葵（大中玄関）

【令和2年度 大宮学園学校運営協議会役員（敬称略）】

＜会長＞ 西村 忍（大宮町区長連絡協議会）

＜副会長＞ 木下 浩章（大宮学園保幼小中一貫教育PTA）・今度 義則（大宮学園校長会）

＜事務局長＞ 松田 正夫（大宮学園保幼小中一貫教育コーディネーター）

【委員構成団体】

- (1) 大宮町区長連絡協議会
- (2) 大宮町民生児童委員協議会
- (3) 京丹後市社会福祉協議会
- (4) 大宮町公民館連絡協議会
- (5) 大宮地域公民館
- (6) 大宮地域スポーツ団体
- (7) 大宮地域文化団体
- (8) 大宮地域学校ボランティア団体
- (9) 家庭教育支援チーム
- (10) 学校評議員
- (11) 保護者会（保育所・こども園）
- (12) 大宮学園保幼小中一貫校PTA
- (13) 大宮学園校長会
- (14) 大宮学園教頭会

【委員の皆様からの主なご意見】 ○コロナ禍の対応と今後の学校行事予定

○子どもが伸び伸び成長できる「環境作り」

○保幼小中一貫教育に係る「広報活動」の充実

○保幼小中の交流活動と居場所づくり

○学校教育・社会教育の環境整備の重要性

○地域を挙げてより良い学校運営を

○子どもだけでなく大人も「学ぶ姿勢」を

○家庭生活の過ごし方（運動、ゲーム）

○子どもたちの地区行事への参加と工夫

○人権教育の更なる充実

○子どもにとって楽しい学校作りを地域から

大宮こども園・大宮北保育所の子どもたち

＜大宮こども園～七夕まつりの様子＞



＜大宮北保育所～プール遊びの様子＞

